



2025年6月20日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)
問合せ先 経営企画管理本部長 矢下 秀行
(電話：03-6370-0909)

2025 年 3 月期決算並びに第 40 回定時株主総会質疑応答集

この質疑応答集は、2025 年 5 月 12 日（月）の 2025 年 3 月期決算発表以降において、第 40 回定時株主総会をはじめ、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび 1on1 ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。当社のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

【業績について】

Q. 第 4 四半期の大型案件について教えてください。

A. 当初はサブスクリプション形式でご提案していた案件が、最終的にパッケージでの一括導入に変更されたことによるものです。これは、お客様側の年度予算の都合などを踏まえた調整によるものです。

Q. 2024 年 12 月から 2025 年 3 月にかけての MRR（Monthly Recurring Revenue：月次経常収益）の伸びが鈍化しているのはなぜでしょうか？

A. 2024 年 10 月に大型のサブスクリプション案件を受注し、本来第 4 四半期に想定されるような案件が第 3 四半期に前倒しで契約・計上されたことによるものです。
そのため、第 3 四半期は売上が大きく伸び、第 4 四半期は目立った大型受注がなかったように見える結果となりました。

【製品・事例について】

Q. ACMS Cloud について、どのようなソリューションなのか教えてください。

A. 「つなぐ力をすべての人へ」をコンセプトとして、当社が長年培った企業間データ連携（EDI）の技術をベースに開発した、クラウド型のデータ連携プラットフォームです。従来の EDI 機能に加え、近年需要が高まっている API 連携を含む、企業内外の多様なデータの

送受信・変換・管理を、1つのプラットフォーム上でシームレスに実現できるのが特長です。また、クラウドサービスとして提供することで、お客様はインフラの構築や運用の負担を軽減しながら、必要な機能を柔軟にご利用いただけます。更に、ノーコードでアプリケーションが構築可能な操作性や生成 AI によるサポート機能など、専門知識を必要としない、データ連携を提供します。11 月予定のファーストリリースを皮切りに、機能追加・拡充を段階的に進め魅力的なソリューションとして展開してまいります。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.dal.co.jp/products/di/acmscloud/outline.html>

Q. 自社製品への AI の活用について、内容や時期など具体的なことを教えてください。

A. 自社製品への AI 活用について、時期については明確には申し上げられませんが、エラーの予兆検知や自動復旧、Chatbot によるサポート対応、自動マッピングやクレンジングなど、まずは、開発や運用の手間を減らす機能を順次搭載する予定です。

【中期経営計画について】

Q. このタイミングで、新しい中期経営計画を発表したのはなぜですか？

A. グループ体制の再編と連結決算への移行を受けて、今後の方向性をグループベースで明確に示す必要が生じたため、このタイミングで新中期経営計画を策定・発表しました。

Q. 中期経営計画の売上高 60 億円は直近の売上高の 2.3 倍と高い目標に感じます。

本当に実現は可能なのでしょうか？

A. 中期経営計画の最終年度の売上高 60 億円という目標値については、当社を含めたグループ各社のそれぞれの伸長計画をベースに挑戦的な設定をさせて頂いております。

高いハードルですが、実現できない数値ではないと考えております。

目標達成に向けては、リカーリング推進による既存事業の成長、AI・データ連携の融合による新市場の開拓、M&A による事業規模の更なる拡大といった成長ドライバーを中心に、グループ一丸となって事業に取り組んでまいります。

【その他】

Q. 今後も引き続き M&A は行っていくのでしょうか？

A. 当社は今後も積極的に M&A を推進してまいります。具体的なターゲット企業につきましては非開示とさせていただきますが、既存事業との親和性やグループシナジーの創出を最重視し、成長戦略の一環として検討を続けてまいります。

Q. 今後も安定的な配当を維持できますか？

A. 当社は配当下限 25 円を設定した上で、DOE（株主資本配当率）3.5%を基準とした配当実施を基本方針としております。当期は 26 円の配当を実施し、配当性向は 47.5%となりました。今後も安定的な配当を継続するため、リカーリングビジネスの拡大により、収益基盤を安定化させ、持続的な利益成長を実現します。なお、一時的な業績変動があっても、配当下限 25 円は堅持する方針です。

Q. 10 年後にデータ・アプリケーションはどのような会社になっているのでしょうか？

A. 現在当社は「データと一緒にワクワクする未来へ！」というビジョンを旗印に、社会貢献と企業成長を図っております。このビジョンについては中長期的なものであり、10 年後の当社もこの延長線上にあります。また、当社は、直近で 3 社のグループインを実施しており、データ・アプリケーショングループとして大きな変化が起きており、今年 11 月には創業 40 周年を迎える節目のタイミングともなっております。

このような中で、10 年後を見据えて、当社の在りたい姿を検討するプロジェクトを立ち上げています。お伝えできるタイミングになりましたら HP などでお伝えする予定です。

Q. 安原社長がデータ・アプリケーションをマネジメントしていて、今まで 1 番困難であったことは何でしたか、またどのように克服しましたか？

A. 就任直前に直面した新型コロナウイルスの感染拡大における、事業継続と社員の安全確保の両立への対応です。2020 年 2 月末に新オフィスに移転し、その 1 か月後に社長に就任、直後に緊急事態宣言が発令され、就任直後に様々な対応に追われました。

例えば「リモートワーク体制を整備」「業務プロセスのデジタル化の推進」「社員との定期的なオンライン対話を通じてコミュニケーションを継続」です。また、同時に売上の大幅な減少、サプライチェーンの混乱など、先の見通せない不安な状況でした。この未曾有の事態を会社の構造を変えるチャンスと捉え、役員・従業員が一丸となって知恵を絞り、迅速な意思決定と実行を繰り返した結果、危機を乗り越え、より強靱な経営基盤を築くことができました。

【ご参考情報】

2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2609213/00.pdf>

2025 年 3 月期 決算説明会資料

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2609238/00.pdf>

2025 年 3 月期決算説明動画

<https://irtv.jp/channel/19178>

中期経営計画（2026 年 3 月期～2028 年 3 月期）策定のお知らせ

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2609241/00.pdf>

中期経営計画（2026 年 3 月期～2028 年 3 月期）説明動画

<https://irtv.jp/channel/19357>

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】(<https://www.dal.co.jp/>)

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」を提供し、国内の EDI ソフトウェア市場でリーダーシップを確立しています。企業間・部門間・クラウド・SaaS など分散したデータをボーダーレスにつなげるデータ連携ソリューションは、すでに 3,004 社 15,192 サイトを超える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。（導入数：2024 年 3 月末時点）

今後は、個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現するために、企業をつなげる、データをつなげる、人をつなげる、そしてナレッジ（知識）をつなげる、「つなげる」ために必要な基盤技術「DAL PLATFORM」を提供してまいります。

【HP】<https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/DataApplications/>

【X】https://twitter.com/dal_acms

【note】<https://note.com/dataapplications/>

<本件についてのお問い合わせ先>

経営企画管理本部
E-Mail：ir@dal.co.jp

※お問い合わせ内容の正確な記録および対応の一貫性の確保、公正な情報開示（フェア・ディスクロージャー）の観点から、お電話では承っておりません。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Cloud, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON, OCRtran, Placul は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。